

会 議 記 録 (1)

会議名称	令和元年度第2回北本市公共施設等総合管理計画推進審議会		
開会及び閉会日時	令和元年10月1日(火)	午前10時00分	開会 午前12時00分 閉会
開催場所	文化センター第2研修室		
会長氏名	天神 良久		
出席委員(者)氏名	天神 良久 高橋 聡一 福島 孝助 諏訪 千加子 高松 勝義	井野 千広 高橋 誠 狩野 曜子 深谷 忍	小澤 好夫 高橋 博 高松 隆士 嶋田 和敏
欠席委員(者)氏名	岩田 俊子		
説明者の職氏名	契約管財課 施設再編担当	主幹	津田 実
事務局職員職氏名	契約管財課 施設再編担当	課長 主幹 主査	山崎 寿 津田 実 原田 和則
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題「適正配置について」 4 質疑応答 5 閉会		
配布資料	令和元年度北本市公共施設等総合管理計画推進審議会 第2回資料		

会 議 記 録 (2)

事務局	1 開会
会長	2 会長あいさつ
	【会長あいさつ】
会長	それでは、これからの会議において、議長として議事を進行させていただきます。事務局から事前に諮るべき事項はありますか。
事務局	まず、会議の公開及び資料の閲覧について、「北本市附属機関等の会議の公開に関する規則」に準じ、この場の会議の公開と資料の閲覧の可否について、委員の皆様には諮らせていただきたいと考えております。
会長	事務局から提案がありました会議の公開と資料の閲覧について御意見はいかがでしょうか。
各委員	【意見なし】
会長	特に御意見がなければ、会議を公開するとともに資料の閲覧を認めることとします。
会長	それでは、本日の議論に進むため、事務局には、傍聴希望者への御案内をお願いします。
	【傍聴人を傍聴席へ案内】
会長	3 議題
	それでは、議題に入ります。適正配置について、事務局より説明をお願いします。
説明者	【配布資料に基づき説明】
会長	4 質疑応答
	それでは、次第4、質疑応答に入ります。御意見や御質問

会 議 記 録 (3)

	<p>はありますか。</p>
<p>小澤委員</p>	<p>適正配置の方向性について、メリット・デメリットの説明はありましたが、費用面はどのようになっていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>3案を掲げましたが、公共施設等総合管理計画において将来費用と過去5年間の投資的経費との比較で乖離しています。この乖離を解消するには、延床面積50%削減を図らなければなりません。ここで示しました3案を50%削減させようとするすると、まだかなり厳しい状況にあります。但し、現実的なものを考えますと、それを目指しておりますが、実際のところ40~45%程度の削減という状況になっています。</p>
<p>小澤委員</p>	<p>プラン1、プラン2、プラン3を比較した場合、現状と比較して、どのプランに効果が生まれるのか、そして、メリット・デメリットの比較と費用の効果を考慮したときにプランが決まると思います。プラン1、2、3のそれぞれの効果がないとわかりません。</p>
<p>会長</p>	<p>今回はプランの案を出されたというのが第2回目の議題です。2ページで年8.9億円の不足が生じる可能性があることは理解できますが、どの案がコストでメリットがあって、どの案は少し弱いのか、コストを含めて御提案いただかないと、プランを決めづらいと思います。プランに施設名がないとコストを試算できないかもしれませんが、方向性として、40年間でおおざっぱな数字でも欲しいところです。</p>
<p>事務局</p>	<p>この3案ですが、50%削減を目指すという形で考えれば、いずれも数字はほぼ同じ結果となるような案となります。同じ方向を目指しているところです。</p>
<p>会長</p>	<p>40年間で、2ページの357億円不足の想定があり、プラン1、2、3で似たような方向性の数字を出そうとしているのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほど御説明しましたが、40~45%ぐらいの削減と、条件的には同じになりますが、実際に残る施設が違いますので、その中で3つのプランを判断いただきたいと思いますと考えております。</p>

会 議 記 録 (4)

会長	<p>古くなった建物を大規模改修するとコストが掛かりますが、築年数がまだ経っていない施設は延命化を含めて今後使っていけばコストのメリットは出てくることが考えられます。選択する建物にも影響されると考えます。</p>
事務局	<p>40年間という長期的な計画となります。</p>
狩野委員	<p>市内の小学校が廃校となると、教職員の就職の場、教える場もなくなるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>子供の数が少なくなっており、栄小学校では児童数が60名を下回り、1年生も3名という状況になっています。少人数教育にもメリットはありますが、社会性を養う機会や部活動が制限されている等の問題があると聞いております。子供本位で考えますと、部活動、集団活動ができるような規模、教育委員会で定めております適正規模が大切です。その規模に満たなければ、やむを得ないと考えます。</p> <p>地域に根差した学校もあり、課題はあります。そのような中で、通いやすさ、伝統を残しながら、統廃合ができれば良いということで提案しております。</p>
高橋博委員	<p>8圏域のコミュニティ委員会の機能は市に貢献していると考えます。公民館重視型が一番良いことですが、公民館機能を廃校等に移して、今の機能をなくさなければ、変えていくことは構わないと思います。公民館機能を残して、廃校に移しても良いと個人的には考えます。今の活動、祭りや運動会、文化等の機能を残せる場所を確保できれば、廃校利用は良いと考えます。一番良いのはプラン2ですが。</p>
会長	<p>今の御意見は、機能を残すという面ではプラン1でも可能かもしれませんが、施設を残す場合はプラン2ということになります。何か説明不足があればお願いします。</p>
事務局	<p>プラン1では、そのような機能が移転します。今後、学校の児童・生徒が少なくなります。学校はグラウンドが広いというメリットがあり、それを活用でき、駐車場としての活用</p>

会 議 記 録 (5)

	<p>も考えられます。その他にも、体育館や特別教室があり、ほぼ公民館と同じ機能があります。プラン 2 では避難所機能の確保が難しいというデメリットがあります。公民館でも特にコミュニティセンター、勤労福祉センターは老朽化が進み、維持するには建替え等を考えなければなりません。</p>
高橋博委員	<p>勤労福祉センターの空調設備はすごく悪い状況です。</p>
会長	<p>大学で調査している流れでは、学校の有効利用は根本的に向いていることが研究で出てきています。学校は耐震補強されているため安全性が確保され、空調も整備され、地域に根差し、住民に愛されている施設でもあることから、学校の有効活用で知恵を出すと良い案が出る可能性が高いというのが、大学でも事例があります。</p>
高橋博委員	<p>北本市には大学がなく、北本市の地域活性化の観点から、廃校には大学の研究室等に利用してもらえれば活性化するのではないかと考えます。</p>
会長	<p>学校施設を違う用途の研究機関に貸出しをする等を考えたいところです。その点について何かありますか。</p>
高橋博委員	<p>市内だけで利用するのか、他の大学の研究機関にも貸出しするのか、検討していますか。</p>
事務局	<p>用途的な問題があります。北本市では、ほとんどの学校は市街化調整区域内にあるため、利活用が難しい部分があります。学校を利活用できるものの誘致は今後考えたいと思います。学校を廃校して壊すのではなく、有効利用することを今後検討したいと考えます。</p>
高橋博委員	<p>検討していただきたいと思います。道の駅として廃校を利用する等、いろいろな方法を検討してほしいと思います。</p>
会長	<p>道の駅や宿泊施設の事例はありますが、宿泊となると用途が変わるため、建築的にはコストアップになる危険性があります。例えば、サウンディング、計画する前に民間にアイデ</p>

会 議 記 録 (6)

<p>諏訪委員</p>	<p>ニアを募るところがあります。民間資金を活用できるかもしれませんが。</p> <p>プラン 2 の広域避難所が足りなくなることは、問題になることが考えられます。昨今の台風でも予想を超える災害が起きており、避難所を確保しておく必要があります。</p> <p>北本市は 8 圏域単位で動いてきました。公民館は近くて便利ですが、老朽化が大きな課題です。公共施設の延床面積を半分削減するという目標をもとに考えるならば、8 圏域の方法や制度を変更する考えはないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>栄小学校の通学区の見直しやコミュニティの担い手が少なくなりますので、広域化を図り担い手を補い、人口推移を見ながら、8 圏域の見直しも今後必要になるかと思えます。</p>
<p>諏訪委員</p>	<p>現在も 8 圏域と学校区は相違している。学校区は児童が通う、安全ということが大切なので、いろいろ検討して安全を確保してほしいです。8 圏域の線引きそのものを考え直すことを検討していますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>手法は即答することはできませんが、地区によって人口の増減が違ってくると思えますので、担い手のことを考えると、大きな見直しが必要になることが考えられます。</p>
<p>会長</p>	<p>日本全国、人口が減っていき、少子化により子供の数も減少していきます。これに関しては、国が取り組んでいます。人口は統計的には突然変わらずに、減っていきます。コミュニティも変わらざるを得ないです。北本市はコンパクトですから、比較的、市民の理解が得られると思えますので、知恵を出しながら乗り越えていければと思います。</p>
<p>諏訪委員</p>	<p>プラン 1、2、3 に関する資料をいただき、今のお話しを含めて、もう一度よく考えたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>市が抱えている将来費用という大きな問題に対しては、方向性等、解決する案を考えなければなりません。本日の説明では、抜本的に何かを減らすということではなく、小学校の</p>

会 議 記 録 (7)

高橋誠委員	<p>空いているところに機能を移すという提案や方向性ですので、考えていきたいと思います。</p> <p>昨年のワークショップから参加しましたが、これからは公共施設を減らしていかなければならないと考えています。ワークショップの中で、北本市民の使用頻度が低い、使えていない施設があります。具体例では野外活動センターです。予約は 3 か月前で市外の利用者で埋まり、北本市民は土日に使えないのが現状です。</p> <p>ワークショップでは、短期、中期、長期にできることに對して、いろいろな意見が出ました。収益を上げられる、短期的にできることをしっかり行うという意見がありました。今ここでまとめても、そこを含めて考えないと市民の理解を得られず進まないのので、あの場でまとめたものを少しずつ出して良い形にしていければ良いと思います。</p> <p>そして、野外活動センターの浴室設備です。ボイラーの更新には費用が掛かるので廃止で良いと思います。現在は浴室設備があるので、新設備の活用を提案しました。残せるものは残してうまく活用することで市民の理解が得られると思います。</p>
事務局	御提案としてお受けしました。
会長	<p>市だけで方向性を決めてもうまくいかず、市民の意見も聞きながら、ただし、全員が全部一致することはありませんので、バランスを見ながら提案することになります。</p>
高松勝義委員	<p>学校施設の空調は廃校後に活用する場合、廃校後も今のまま使えるのでしょうか。また、学校施設は大きい施設ですので、維持費は公民館を建替えた場合と比較すると、費用的にはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>学校は 10 年くらい前から耐震補強のほか、大規模改修も行っております。エアコン等も寿命があり、取り替えなければなりません。新たに公民館等の機能を移す場合は、改造が必要となり、改修費用が掛かります。複数の公民館を改修することを考えれば、施設を集約することで改修費用も縮減でき</p>

会 議 記 録 (8)

	<p>るのではないかという考えのもと、統廃合の計画を立てる方向で考えております。</p>
高松勝義委員	<p>学校にソーラーパネルを付けていますが、もう少し屋上に広げることはできないのでしょうか。</p>
事務局	<p>学校と庁舎に設置しています。一定の規模までは、国から補助が出ますが、それ以上については全て市が負担することとなります。規模が大きくなればなるほど、管理が難しくなり、維持管理費が掛かりますので、増設するのは難しいと考えます。</p>
会長	<p>建物を減らすことだけでなく、長寿命化・延命化をすることでコスト削減していくことも重要だと考えますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>本計画では、できる限り長寿命化、延命化することを前提に検討しています。積み残しが98億円と試算されており、まとめて一度に改修することは不可能であるため、極力延命化を図ることで、コストを縮減するという考えのもと、計画を立てていきます。</p>
会長	<p>全ての建物を延命化する必要はなく、今の劣化状況や利用頻度を見て、この建物は大規模改修して延命化した方が良く、土地の場所、建物の築年数を含めて検討しなければなりません。</p>
高松隆士委員	<p>公共施設に係る費用は平均で良いと考えますが、これから人口が減り、生産年齢人口も減少するので、歳入も減少することが想定されるため、早急に取り組むべき問題であると考えます。</p> <p>学校の児童数も減少し、1990年で5,329人、2020年では半分の2,745人、試算Aでは2015年と2055年で比較すると約1/3の約1,000人しかいなくなります。学校に関しては、迅速に取り組むべきです。学校が近くだから家を購入する等、家を購入することは一生に一回のことなので、今後の人口減少する中で、これから家庭を築く世代に住み続けていただくた</p>

会 議 記 録 (9)

<p>会長</p>	<p>めにも、早い段階で、学校に関してのプランニングは発信しなければなりません。そうしないと、市民からの理解が得られず後退してしまうのではないかと考えます。</p> <p>そのとおりで、市の資料も推計では少子化になるので、早めの方針を決めていきたいというのが、方向性であると思います。それにはどのプランにするかによって、かなり変わる可能性があるのですが、審議会で審議しているところです。</p> <p>最初の御意見は歳入そのものが変わっていくのではないかとということです。</p>
<p>高松隆士委員</p>	<p>今後の見通しとしては、歳入は減っていき、費用は平準化というよりも多くなることが見込まれるため、統廃合を効率的に取り組まなければならないと考えます。</p>
<p>会長</p>	<p>今後の歳入の見通しはいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>税収は減少していくものと考えます。扶助費が増えており、今後も増えていくことが予想されています。そして、道路、下水道等のインフラは優先的に取り組まなければならないので、そのため、公共施設を削減することが求められています。公共施設に関する費用を抑えて、他の不足するものを補うことがこの計画の目的となっております。</p>
<p>会長</p>	<p>現状、投資的経費が年間 15.7 億円と平均になっていますが、例えば、歳入が減っていくのであれば、それも減っていくのではないかと思います。</p>
<p>高松隆士委員</p>	<p>平均というよりも、減っていくものと考えます。そして、機能は残しつつ、集約化等に迅速に取り組まなければならないと考えます。</p>
<p>会長</p>	<p>そのとおりで、他の自治体では、学校については、廃校にして民間に貸し出して、市はメンテナンスの費用を出さないというようなやり方もありますので、学校の方向性を早く決めることが重要だと思います。</p> <p>また、市の施策は一度に支出をしても長く見て、コストメ</p>

